

専門ゼミ／専門科目

ナンバリング	科目名	サブタイトル	担当教員	配当年学期	単位数
231BZ01	経済政策論ゼミ	市場社会の経済的分析	高橋 真悟	2年次通年	4
科目区分	専門	キーワード	説得力のある文章・行動経済学・意思決定の方法		
ディプロマポリシーとの対応	3. 誠実な姿勢で、課題を発見し解決できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応	1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前に受講するとよい科目	経済学 A・B、政治経済、現代社会論				
オフィスアワー	火・金（時間は応相談）				
教員への連絡方法	教員の短大メールアドレス				
講義の目的	前期は、経済（主に行動経済学）の基礎知識の習得と研究・発表手法を身につけることを目的として、テキストの精読を中心に進めて行きます。後期は、各自の卒業論文完成を最大の目的として、個々のテーマ設定と用いる資料、アウトライン、最終的な結論の各段階において、お互いにコメントし合い、より良い論文内容に仕上げることが目指します。				
到達目標	前期は、経済的分析のための基礎知識の習得と研究手法および発表方法を身につけることが到達目標です。後期は、資料やデータを用いて各自の卒業論文を執筆し、根拠に基づいた論文を完成させることを最終的な到達目標とします。				
講義内容	本ゼミでは現代の市場社会の特徴について、経済的側面から分析を行います。具体的には、心理学と経済学の融合分野である行動経済学の考え方を身につけて、現代の経済的諸問題を議論していきます。また、卒業論文の執筆に必要な文章表現能力も合わせて磨いていきます。とくに、説得力のあるアウトライン（序論・本論・結論）の作成に十分な時間をかけ、個別指導も行っていきます。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	前期オリエンテーション	前期の授業の進め方・諸連絡など		
	第2講	テキスト輪読と議論（1）	テキストの輪読と議論：行動経済学の考え方		
	第3講	テキスト輪読と議論（2）	テキストの輪読と議論：人間らしい心の動き		
	第4講	テキスト輪読と議論（3）	テキストの輪読と議論：ヒューリスティックとは		
	第5講	テキスト輪読と議論（4）	テキストの輪読と議論：プラシーボ効果ほか		
	第6講	テキスト輪読と議論（5）	テキストの輪読と議論：意思決定の仕組み		
	第7講	卒業論文構想報告会（1）	卒業論文の仮テーマの設定		
	第8講	テキスト輪読と議論（6）	テキストの輪読と議論：お金の使い方ほか		
	第9講	テキスト輪読と議論（7）	テキストの輪読と議論：行動経済学の活用事例		
	第10講	テキスト輪読と議論（8）	テキストの輪読と議論：マーケティング成功事例		
	第11講	テキスト輪読と議論（9）	テキストの輪読と議論：ナッジ理論とは		
	第12講	テキスト輪読と議論（10）	テキストの輪読と議論：なりたい自分になるために		
	第13講	卒業論文の構想	卒業論文のテーマ決めと参考文献の調査		
	第14講	卒業論文構想報告会（2）	卒業論文のテーマと参考文献の決定		
第15講	前期まとめ	卒業論文の進め方・夏休みの課題など			

第16講	後期オリエンテーション	後期の授業の進め方・諸連絡など
第17講	卒業論文の作成指導（1）	アウトラインの構想：これまでの復習
第18講	卒業論文の作成指導（2）	アウトラインの構想：参考文献の確認
第19講	卒業論文の作成指導（3）	アウトラインの構想：参考資料の追加
第20講	卒業論文の途中報告（1）	アウトラインの発表：問題提起の検討
第21講	卒業論文の途中報告（2）	アウトラインの発表：序論の検討
第22講	卒業論文の途中報告（3）	アウトラインの発表：仮の結論の検討
第23講	卒業論文の途中報告（4）	アウトラインの発表：全体の検討
第24講	卒業論文の途中報告（5）	アウトラインの発表：改善点の確認
第25講	卒業論文の執筆指導（1）	論文の修正と個別指導：問題提起の確認
第26講	卒業論文の執筆指導（2）	論文の修正と個別指導：序論の確認
第27講	卒業論文の執筆指導（3）	論文の修正と個別指導：結論の確認
第28講	卒業論文の執筆指導（4）	論文の修正と個別指導：結論の根拠の確認
第29講	卒業論文の執筆指導（5）	論文の修正と個別指導：形式面の確認
第30講	まとめ	より良い論文に仕上げるために・これまでの復習
指導方法	前期はテキストの輪読・議論・解説を行い、後期は各自の卒業論文の報告・議論・アドバイスを中心に進めていきます。	
事前学習	前期はテキストの該当箇所を通読し、どこがわからないか、不明点や疑問に思ったことを把握しておいてください。後期は自分の研究に必要な資料調査をするようにしてください（1時間半程度）。	
事後学習	前期は教員からのコメントを活かしたレジュメづくりとテキストの読み返しをし、後期は教員からのコメントを活かした卒業論文の執筆を行ってください（1時間半程度）。	
成績評価方法	卒業論文 50%、平常点（報告・議論） 50%	
課題(試験・レポート)に対する フィードバックの方法	授業内またはメールで解説します。	
テキスト	阿部誠『サクッとわかるビジネス教養 行動経済学』新星出版社、2021年。	
参考文献	特になし。	
実務家教員による 授業	教員 経歴	
特記事項		